

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 4 月 26 日 (2012.4.26)

【公表番号】特表 2011-513463 (P2011-513463A)

【公表日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2011-017

【出願番号】特願 2010-550175 (P2010-550175)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/894 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/02

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/894

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/31

A 6 1 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 6 日 (2012.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 疎水性溶媒を含むゲルの形態での、組成物の全重量に対して少なくとも 5 重量 % のポリシリコーン - 11、

(b) 組成物の全重量に対して少なくとも 0.5 重量 % の光学的効果を有する固形粒子、および

(c) 少なくとも 1 個のオキシエチレン基および少なくとも 1 個のオキシプロピレン基を含むジメチコンコポリオールから選択される、少なくとも 1 種のシリコーン乳化剤を含む油中水型エマルション。

【請求項 2】

疎水性溶媒が、少なくとも 1 種の揮発性溶媒であって、好ましくはデカメチルシクロペンタシロキサンなどのシリコーン油、水素化ポリイソブテンまたはイソドデカンなどの分枝鎖炭化水素、ならびにそれらの混合物から選択される揮発性溶媒を含む、請求項 1 に記載のエマルション。

【請求項 3】

ポリシリコーン - 11 が、組成物の全重量の約 6 重量 % から約 30 重量 %、好ましくは

約 6 重量 % から約 12 重量 % の量であり、

固形粒子が、0.5 重量 % から 20 重量 %、好ましくは約 1 重量 % から 15 重量 % の量であり、

シリコーン乳化剤が、0.25 重量 % から 7 重量 %、好ましくは約 0.5 重量 % から 3 重量 % の量である、請求項 1 または 2 に記載のエマルジョン。

【請求項 4】

ポリシリコーン - 11 に対する固形粒子の重量比が、1 から 2 の間、好ましくは 1 から 1.5 の間で含まれる、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のエマルジョン。

【請求項 5】

ジメチコンコポリオールが、セチル PEG / PPG - 10 / 1 ジメチコンおよび PEG / PPG - 18 / 18 ジメチコンならびにそれらの混合物から選択される、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のエマルジョン。

【請求項 6】

固形粒子が、顔料、真珠、レーキ、粉末、充填剤、日焼け防止剤、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のエマルジョン。

【請求項 7】

エマルジョンがまた、アクリロイルジメチルタウリン酸アンモニウム / VP コポリマーを含む、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のエマルジョン。

【請求項 8】

1. 疎水性溶媒中にポリシリコーン - 11 を分散し、ゲルを形成するステップ、  
2. 前記ゲルにシリコーン乳化剤を添加し、水相と混合するステップ、  
3. 少なくとも 1 つの光学的効果を提供する固形粒子を添加するステップ  
を含む、請求項 1 から 7 のいずれかに記載のエマルジョンを調製する方法。

【請求項 9】

少なくとも 1 つの光学的効果を提供する固形粒子が、ポリシリコーン - 11 の一部に事前に分散される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 から 7 のいずれかに記載のエマルジョンを含む、メイクアップファンデーション。